

研修利用の充実事業

「第3回利用団体のための説明会」

1. 趣旨

国立赤城青少年交流の家を利用する団体の引率者が、施設の利用方法や各活動プログラムの内容を理解するとともに、実際にプログラムの一部を体験する。

2. 事業の概要

(1) 期日

第3回：令和4年8月26日（金）、27日（土）

(2) 参加者

①参加対象

第3回：令和4年度利用団体（9～11月）の引率者

②参加人数と内訳

8月26日（金） 14名

（小学校1校、中学校7校 合計8校）

8月27日（土） 7名

（小学校1校、中学校3校 合計4校）

3. 企画運営のポイント

- ①利用説明では、活動計画書や食事申込書など、提出書類の書き方を丁寧に説明することでスムーズな施設利用につなげる。施設利用では、YouTube動画を活用して利用団体が活動内容をイメージできるようにする。
- ②参加者を2グループに分け、事前打ち合わせと施設見学を同時に進行することで、事前打ち合わせの時間を多く確保できるようにする。
- ③施設見学では、所内を実際に歩き、使用方法や新型コロナウイルス感染症対策などのポイントを具体的に伝える。
- ④活動体験では、利用の多い野外炊事の火起こし体験と、キャンプファイヤーとキャンドルファイヤーの準備と片づけを行い、安全管理の点を踏まえた体験をする。
- ⑤昼食は食堂での食事をすることで、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた食事の仕方を実践していただき、当日の活動に生かせるようにする。

4. 日程

時間	午前	午後
内容	開会行事 施設利用説明 施設見学 事前打ち合わせ	昼食 施設見学 事前打ち合わせ 火起こし体験 キャンプファイヤー、 キャンドルファイヤー準備、片づけ 質疑応答

5. 主な活動内容



「開会行事」



「施設利用説明」



「施設見学」



「薪の組み方説明」



「火起こし体験」



「事前打ち合わせ」

6. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

満足18名(86%) やや満足3名(14%) やや不満0名 不満0名

(2) 参加者の声

- ・食堂で食事がとれたこともよかったです。
- ・林間学校の実施日が近い日に説明会があったため、具体的なイメージを持つことができました。
- ・個別の打合せでは、細かなところまで相談にのっていただき、活動が具体的にイメージすることができました。
- ・火起こしやキャンプファイヤーの準備などの体験ができてよかったです。
- ・遠方からの参加だったので、前泊できるとよかったです。
- ・2回目の参加でしたが、柔軟に対応していただきました。(意見多数)

(3) 成果

- ①施設利用の説明では、事前打合せやプログラム相談で質問の多い、新型コロナウイルス感染症対策の取組や提出書類(活動計画書や食事申込書など)の書き方などを始めに説明することで、参加者にとってわかりやすい説明会となるような工夫ができた。
- ②施設見学と事前打ち合わせを午前と午後のグループに分けることで、学校団体ごとに個別の事前打ち合わせの時間を十分に確保することができた。
- ③事前打ち合わせでは、利用団体毎に当日の活動に即した質問事項やプログラム相談などに個別に対応することができた。

(4) 課題

- ①今年度は、事前打ち合わせや、提出書類の書き方などの説明がメインとなったため、「登山プログラムを体験できるとよかった」という要望もあった。予算の都合もあるので、下見を勧めたり、登山についての説明の時間を充実させたりするなどの工夫も必要である。
- ②今回の参加者は遠方からの参加者が多く、「前泊できるとよい」という声があった。来年度は申し込み時のチェック欄に「前泊または後泊希望」欄を設ける必要がある。

担当 企画指導専門職 渡邊 秀幸